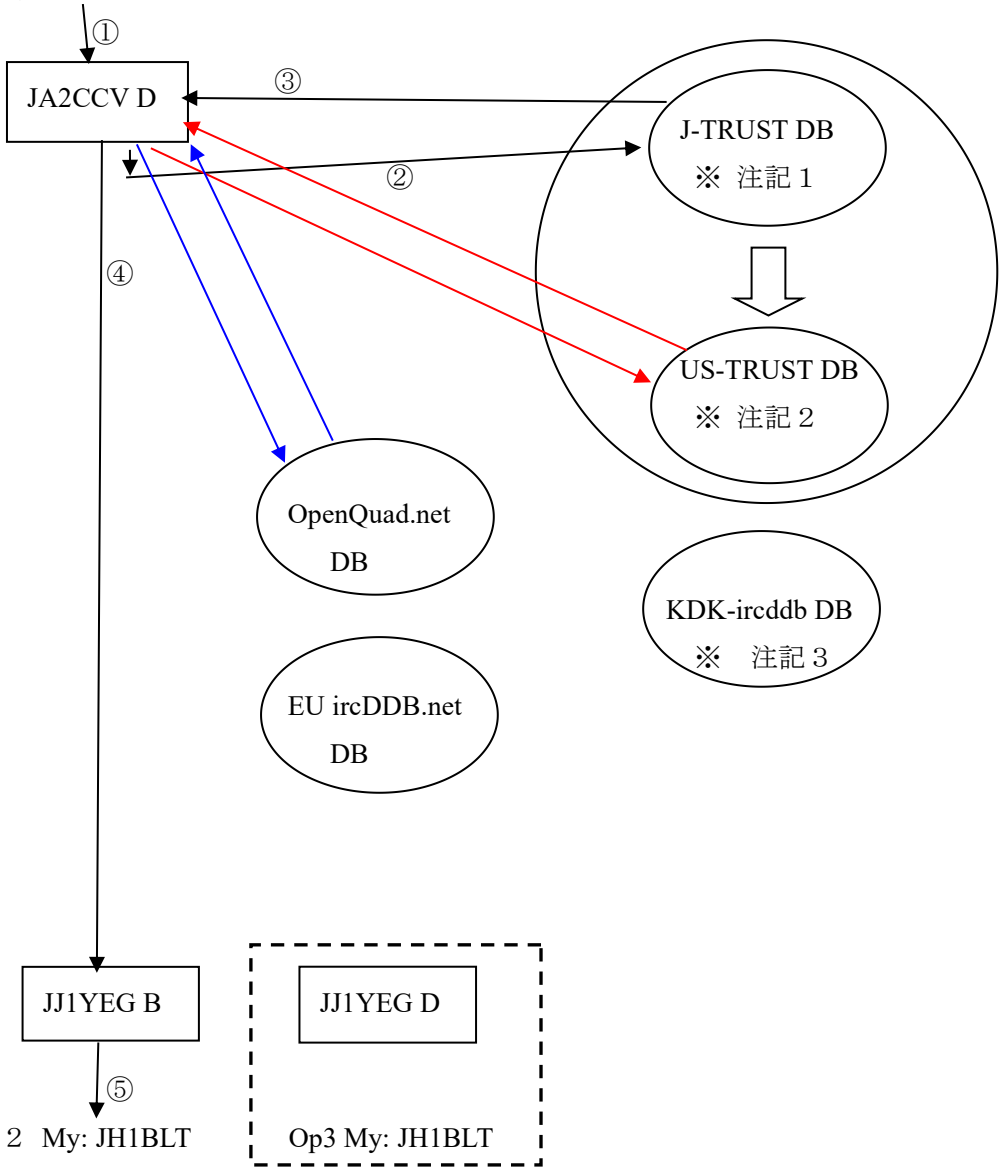
D-STAR 送信時の流れ　　date: 22.06.2021　written by Moto /jh1blt

JA2CCV(NoraGateway)で PTT を押すと、①→②→③と選択された DB に JH1BLT の最終アクセスノーロ（レピーター）の問合せを 300ms 以内に行われる。問合せで得られた JJ1YEG B と GIP がノード（JA2CCV D）にセットされ、続けてヘッダー＋音声パケットを④→⑤の順序で JJ1YEG B 側に一方的に送信する。この送信は、JA2CCV が JH1BLT 宛てに送信する毎に（正確にはノード JA2CCV D を変えない限り最初の一回目だけ）この手順で送信される。二回目以降は、①→④→⑤となる。

Op1 My: JA2CCV　[Trust server 切り替えコマンド **G2RJ,**　**G2RG,**　**G2RI]**



注記１：Request すると以下が get できる DB　　（以下、GIP とは Global IPaddress）

1) 個人コールと最終アクセスレピータ（or ノード）

2) レピーター（or ノード）とその GIP

注記２：J-TRUST のデータ（上記２組み）が定期的に、US-TRUST DB に追加／削除される。
しかし、時間的には遅延していたり、J-TRUST のデータと完全には一致していない場合もあり、不完全である。つまり　**US-TRUST DB　≒ J-TRUST**

注記３：注記１とほぼ同様に参照できる。

1) 最新の個人コールとノードコールサイン

2) ノードコールサインと、その GIP

追記：NoraGateway の ircddb への切り替えは G2RI で行える。

注意：現在のところ NoraGateway にはヨーロッパを中心とした ircDDB.net の設定はできない。